

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 2 月 13 日 (2014.2.13)

【公開番号】特開 2012-133587 (P2012-133587A)
 【公開日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-027
 【出願番号】特願 2010-285052 (P2010-285052)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 2 0 0 B

G 0 6 T 7/00 1 0 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 24 日 (2013.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力された画像を複数のブロックに分割する分割手段と、
 前記分割手段によって分割された複数のブロックから特定領域の候補領域を抽出する候補領域抽出手段と、

前記候補領域抽出手段により抽出された候補領域の形状、および、前記ブロックに対する前記候補領域のサイズの比率に基づいて、前記候補領域の評価値を算出する算出手段と

、

前記算出手段によって算出された評価値に基づいて、前記候補領域の中から特定領域を抽出する特定領域抽出手段とを有することを特徴とする画像解析装置。

【請求項 2】

前記算出手段は、前記候補領域の形状に基づいて前記評価値を求め、前記ブロックに対する前記候補領域のサイズの比率が小さくなるほど、前記評価値を小さくする補正を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の画像解析装置。

【請求項 3】

前記算出手段は、前記候補領域の偏平度が高くなるほど大きい評価値を算出することを特徴とする請求項 2 に記載の画像解析装置。

【請求項 4】

前記算出手段は、前記候補領域の凹凸が少なくなるほど大きい評価値を算出することを特徴とする請求項 2 に記載の画像解析装置。

【請求項 5】

前記算出手段は、さらに前記候補領域の位置及び面積に基づいて前記候補領域の評価値を算出することを特徴とする請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載の画像解析装置。

【請求項 6】

前記算出手段は、前記ブロックに対する前記候補領域のサイズの比率が所定値よりも小さい場合、前記候補領域の位置及び面積のみに基づいて前記候補領域の評価値を算出することを特徴とする請求項 5 に記載の画像解析装置。

【請求項 7】

前記候補領域抽出手段は、前記複数のブロックの色相および輝度の少なくともいずれか

に基づいて、前記画像から前記候補領域を抽出することを特徴とする請求項 1 ～ 6 の何れか 1 項に記載の画像解析装置。

【請求項 8】

前記候補領域抽出手段は、静止物体、動物体、人物、または動物を含む画像から候補領域を抽出することを特徴とする請求項 1 ～ 7 の何れか 1 項に記載の画像解析装置。

【請求項 9】

入力された画像を複数のブロックに分割する分割工程と、

前記分割工程において分割された複数のブロックから特定領域の候補領域を抽出する候補領域抽出工程と、

前記候補領域抽出工程において抽出された候補領域の形状、および、前記ブロックに対する前記候補領域のサイズの比率に基づいて、前記候補領域の評価値を算出する算出工程と、

前記算出工程において算出された評価値に基づいて、前記候補領域の中から特定領域を抽出する特定領域抽出工程とを有することを特徴とする画像解析方法。

【請求項 10】

入力された画像を複数のブロックに分割する分割工程と、

前記分割工程において分割された複数のブロックから特定領域の候補領域を抽出する候補領域抽出工程と、

前記候補領域抽出工程において抽出された候補領域の形状、および、前記ブロックに対する前記候補領域のサイズの比率に基づいて、前記候補領域の評価値を算出する算出工程と、

前記算出工程において算出された評価値に基づいて、前記候補領域の中から特定領域を抽出する特定領域抽出工程とをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の画像解析装置は、入力された画像を複数のブロックに分割する分割手段と、前記分割手段によって分割された複数のブロックから特定領域の候補領域を抽出する候補領域抽出手段と、前記候補領域抽出手段により抽出された候補領域の形状、および、前記ブロックに対する前記候補領域のサイズの比率に基づいて、前記候補領域の評価値を算出する算出手段と、前記算出手段によって算出された評価値に基づいて、前記候補領域の中から特定領域を抽出する特定領域抽出手段とを有することを特徴とする。